2025 年 11 月 6 日

公益社団法人日本母性衛生学会
理事長　正岡直樹

妊婦に接種する RS ウイルス母子免疫ワクチンについて

RS ウイルス母子免疫ワクチンである組換え RS ウイルスワクチン（販売名：アブリスボ®）が、「妊婦への能動免疫による新生児及び乳児における RS ウイルスを原因とする下気道疾患の予防」を適応として日本でも製造販売承認を取得し、2024 年 5 月 31 日より販売が開始され、妊婦への接種が徐々に進んできました。

RS ウイルス感染症は、重症化リスクのある児（早産児等）のみならず、基礎疾患のない正期産で生まれた児においても重症化の懸念があり、小児科領域では重要な疾病です。

妊婦が RS ウイルス感染症を理解し、妊娠中に接種する RS ウイルスワクチンに関する適切な情報を得るにあたっては、医師だけでなく、看護師や助産師、保健師が関与・貢献できる部分は大きく、重要と考えます。少子化の中で生まれてきた大切な児が RS ウイルス感染症から守られ、健やかに成長するために、母体ならびに新生児・乳児・幼児の健康を守る医療従事者が協働し、理解と実践が進むことが望まれます。日本母性衛生学会は、RS ウイルス母子免疫ワクチンを中心とした RS ウイルス感染症予防戦略の実現を期待いたします。

1. RS ウイルス感染症の疾病負荷

RS ウイルスは世界中に分布しており、乳幼児から大人まで誰もが感染するウイルスです。乳幼児では、2 歳になるまでにほぼ 100%が RS ウイルスに感染するといわれています[1)]。重症化し、入院に至ることがありますが、有効な治療薬はありません。特に早産児、肺や心臓に基礎疾患などがある乳幼児において重症化しやすいことが知られていますが、基礎疾患のない正期産児も重症化することがあります[2)]。RS ウイルス感染症の重篤な合併症として注意すべきものには、無呼吸、急性脳症等があり[3)]、また、その後の気管支喘息の発症との関係性も指摘されています[4)~6)]。重症化リスクのある児に対しては、発症抑制のためにモノクローナル抗体であるパリビズマブ（販売名：シナジス®）またはニルセビマブ（販売名：ベイフォータス®）を投与することがあります。

2. RS ウイルス母子免疫ワクチン（アブリスボ®）の妊婦への接種

RS ウイルス母子免疫ワクチン（アブリスボ®）を妊婦に接種することにより母体の体内で RS ウイルスに対する抗体（RS ウイルス感染を阻止する抗体）を産生します。その抗体が胎

盤を通じて母体から胎児へ移行することで赤ちゃんが抗体を持って生まれるため、出生直後からの RS ウイルス感染症を原因とする下気道疾患を予防します。適応症は、「妊婦への能動免疫による新生児および乳児における RS ウイルスを原因とする下気道疾患の予防」であり、妊娠 24～36 週の妊婦に 1 回 0.5mL を筋肉内に接種します[7)]。有効性の面から妊娠 28 週以降の接種が推奨されます[7)]。また、接種から 14 日以内に出生した場合は胎児への抗体移行が十分でない可能があります[7)]。

接種可能な期間を逃さず、かつ、妊婦やその家族が接種について十分検討する期間が持てるように配慮して情報提供することが求められます。

参考文献

1. 国立感染症研究所: IASR Vol. 43 p85-86: 2022 年 4 月号 https://id-info.jihs.go.jp/niid/ja/typhi-m/iasr-reference/11084-506r03.html（2025 年 11 月閲覧）
2. Kobayashi Y et al.: Pediatr Int 64(1): e14957, 2022
3. 国立感染症研究所: IASR Vol. 39 p207-209: 2018 年 12 月号 https://id-info.jihs.go.jp/niid/ja/rs-virus-m/rs-virus-iasrtpc/8473-466t.html （2025 年 11 月閲覧）
4. Sigurs N et al.: Pediatrics 95(4): 500, 1995
5. Sigurs N et al.: Am J Respir Crit Care Med 161(5): 1501, 2000
6. Sigurs N et al.: Am J Respir Crit Care Med 171(2): 137, 2005
7. PMDA（医薬品医療機器総合機構）ホームページ内 https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuDetail/GeneralList/631350A （2025 年 11 月閲覧）

※以下、各種学会からのステートメント等

◎RS ウイルス感染症に関するガイドラインや考え方の情報（日本小児科学会）
https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20250430_RS_.pdf

●日本小児科学会
「RS ウイルス母子免疫ワクチンに関する考え方」
https://www.jpeds.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=559

●日本産科婦人科学会／日本産婦人科医会
「RS ウイルス母子免疫ワクチン（アブリスボ®筋注用）の接種の安全性について」
https://www.jsog.or.jp/news/pdf/infection04.pdf
「RS ウイルス母子免疫ワクチン（アブリスボ®筋注用）が接種可能となりました！（改定版）」
https://www.jsog.or.jp/news/pdf/20250906_ippan.pdf

●日本周産期・新生児医学会
「妊婦に接種する RS ウイルス母子免疫ワクチンについて　追補版①」
https://www.jspnm.jp/modules/notice/index.php?content_id=111

●予防接種推進専門協議会
「RS ウイルス母子免疫ワクチンの早期定期接種化ならびに抗 RS ウイルスヒトモノクローナル抗体製剤を広く提供するための体制整備に関する要望書」
20250409_Request_for_early-routine-RS-virus-maternal-immunization_a-system-to-widely-provide-human-monoclonal-antibody-products-against_RS-virus.pdf